

ご厚志をありがとうございました

西武リース 様	菊屋 様	荒川青果 様	栗原自動車 様	ヤジマメンテナンス 様
㈱カイゴテック 様	イーテクノス 様	埼玉森林病院 様	松本自動車 様	東京成徳短期大学 様
ヘアサロン美津濃 様	NPO法人 彩花 様	㈱ケージーエム 様		ヘアサロン サポート 様
ヒューマンネット 様	岡村自動車 様	足利ガス 様		県西在宅クリニック熊谷 様
東京家政大学 様	武蔵野短期大学 様	㈱環境工学研究所 様		ケア・クロスくつろぎ 様
太陽設計 様	茄子のとも 様	あいおいニッセイ同和損保 様		ベネフィットシステム 様



【秋祭り ながい寮】2022年10月27日にながい寮の秋祭りを開催いたしました。

時は戻って同年の8月に2019年から全世界で流行し、今現在においても終息していない新型コロナウィルスの集団感染がながい寮でも起きてしまいました。かく言う私もコロナウィルスに早々に罹患してしまいましたが、当時の支援現場の過酷な環境下での大変さは記憶に新しいです。

そのような状況ですから当然行事を行える余裕はありません。毎年開催されていた夏祭りも中止。私が入職してから初めて大きな行事が中止となりました。集団感染というものも初めて…。とはいえ、そ

の後なんとか施設内での感染も収まり以前の生活に戻る事ができました。

そんな中迎えた秋祭り。感染対策をしながらの小規模なもの。のど自慢大会と合わせて職員が考えたクイズ、ゲームを楽しんでもらいました。

お昼は天ぷらに混ぜご飯、つみれ汁と手のかかる物を用意。いつにもましてすぐに平らげてしまい十分に満足して頂けたかと思います。

午後は職員による出し物で昭和の某番組に扮した歌謡ショー。笑いあり感動ありの華やかなステージを披露できました。楽しんでくれている利用者の表情をみていると改めて行事というものは生活に色や明るさを与えてくれる物だと実感しました。

近年のコロナウィルス感染予防に相まって施設の利用者の高齢化も進み、以前行っていたような日帰り旅行は中止せざるを得ず少し寂しさを感じています。今出来る事を大切に利用者の生活に色や明るさを与えられたらと考えております。（宮下）



～ 理事長 山下 達也 ～

新年明けましておめでとうございます。

令和 5 年が早くも訪れましたが、私たちの生活はコロナウィルスや海外での理不尽な戦争による不安の中にあり、皆様におかれましてはご苦労の多いことと存じます。しかしながら、私たち職員は利用者の皆さん、保護者の皆様に安心を提供していくことが勤めでありますので、互いに支えあい、その苦楽を共にして本年も励みたいと思います。

さて、先の世界情勢によりエネルギー資源、食料の高騰、そして、円安の進行は企業だけでなく一般家庭にも大きな影響を及ぼしております。ましてや過去の世界史ではなく、自分が生きているこの現在において、正しさが立場という違う物差しで測られる相対的な文言であることを理解した上でも一国のトップが隣国や自国の人命をも歴史上の数字に変えてしまう判断を行えることに驚愕します。有能な人物を集めた幾つもの機関が正義を主張しても、大義を掲げた権力者を『諫(いさ)める』ことは難しいようです。

もちろん組織の中でも、この諫めるは難しいです。（目上の人に対して、その過ちや悪い点を指摘し、改めるように忠告すること。）

何故なら、部下の立場で上司に進言するなどそも

そも辞める覚悟が必要なぐらい簡単なものではありません。諫められる上司も、会社の為、部下の為に大義を持っていると思っているからこそ自分が見えていないのしょうから、そもそも聞く耳がない可能性が高いです。そして、そうした環境下にきたヒビ割れは修復されるどころか蓄積され瓦解するまでに至ります。

ですから、リーダーは自ら客観力と傾聴力を高めていく努力が必要です。私も良きリーダーでありたいと思っておりますが、まだまだ、良きリーダーであると自信をもっては言えません。利用者の方の安心には、働く職員が安心を感じられる職場であることが非常に大切です。その為にも、自らを諫めてスタートします。

「初心忘るべからず」

（むさしの青年寮 主任 岡部 光大）

私がむさしのの郷に入職してあと半年ほどで 20 年という節目の年。最初の 4 年半が青年寮。その後ながい寮に異動して 6 年。再び青年寮に戻って 9 年。青年寮の利用者さんとも長い関わりになり、ほとんどの利用者さんの性格や特徴は分かっているつもりです。

『初心忘るべからず』とはよく言ったものですが、先日この言葉を強く意識する事がありました。

私が青年寮の日中活動に入る際は”もぎり班”が多いのですが、その日は軽作業班の担当でした。アーモンドフィッシュの箱詰めが「日またぎ」といって、前日の分が残っていて作業量が多く忙しい日。シーラーといってビニールの袋の口を止める作業

社会福祉法人 むさしの郷 事業所一覧 <https://www.musasinogou.com>

□ 障がい者支援施設 ながい寮・法人本部・相談支援センター 〒 360 - 0125 埼玉県熊谷市上恩田514-2
TEL 048-598-7007
【施設入所支援 生活介護 ショートステイ 相談支援】 FAX 048-598-7008
Email honbu@musasinogou.com

□ 障がい者支援施設 むさしの青年寮 〒 355 - 0008 埼玉県東松山市大谷4730
TEL 0493-39-1895
【施設入所支援 生活介護 ショートステイ 日中一時支援】 FAX 0493-39-1380
Email seinen@musasinogou.com

□ 障がい福祉サービス事業所 けやき寮 〒 360 - 0211 埼玉県熊谷市善ヶ島3310-1
TEL 048-588-1358
【就労継続支援B型】 FAX 048-588-8830
Email keyaki@musasinogou.com

□ 共同生活援助事業 未来ホーム（グループホーム） 〒 360 - 0203 埼玉県熊谷市弥藤吾578-18
【東方ホーム、福嶋ホーム、コスモスホーム、未来ホーム、一路ホーム】

中一人の利用者さんが「ねえ次の箱まだ？」と、私は「今やっているのが終わったら出しますよ」と何も考えずに答えました。しかしその後も「次の箱は？」と繰り返し聞いてきました。何度答えても同じように「次の箱は？」と聞かれどう答えたら…とっていると、ある職員さんが「今は昨日の分をやっていますよ。棚に置いてある分を箱詰めしたら今日の分の箱を出しますね」と答えると、以降は聞いて来ることはなくなりました。その時「ああ、自分は利用者さんに慣れてしまっただけなことを忘れていたんだな」と思いました。その職員さんは目に見える情報を的確に教えながら伝える事で、利用者さんに今の状況を理解してもらっていたのです。もちろんそこには二人の信頼関係なども含まれるとは思いますが、それだけではない『相手に伝わりやすい様に言葉を選んでいる』のがはっきりと分かったのです。「どうしたら伝わるのか」ということをその職員さんが行っていた結果であり『初心忘るべからず』という言葉を意識するきっかけとなったのです。

むさしの郷で経験を積み、利用者さんとの信頼関係が出来、性格や特徴を把握していたつもりでいましたが、今回の出来事は自分が悪い意味で『慣れて』しまっていたことを認識する事に繋がりました。自分が入職した時に仕事を教えてくれた先輩が「時間が経てば利用者さんも変わっていくのだから“この方はこうなんだ”といった答えはないんだよ」と教えてくれたことをよく覚えています。しかしいつの間にか頭の中からその言葉が薄れていたのでしょうか。20年という経験がより支援に活かせるように、周りの職員さんの見本となれるように、時々初心に立ち返ろうと思う出来事でした。



＜けやき寮レク＞ けやき寮

未だ続く新型コロナウイルスの影響の中、外出や大きな行事を実施できずに利用者の皆様には楽しんで頂く機会が減っていると思います。

そこで今年も感染症対策を万全にしつつ賑やかに過ごして頂く為、寮内レクを開催する運びとなりました。

某TV番組のバンクボウルやカラオケ、そして運動不足解消を考慮したスポーツレクを用意し身体を動かす機会を設けました。

バンクボウルはボールを転がす角度が重要で難しいレクでしたが、力量を上手く調整し見事ピンを倒していき、ピンポンリレーはおたまに乗せたピンポン玉をいかに落とさずコースを周れるかで身体を動かし、職員の采配で難易度を変える等でとてもいい運動になったと思います。

カラオケは歌う事が好きな方も多いので、一部の方は踊りながら歌ったりされていました。

お昼は季節ものとしてマクドナルドの月見バーガー、おやつも三角チョコパイの期間限定味を提供できたので皆さんとても喜んで下さいました。

いつまで続くのか想像がつかないコロナ禍で、利用者の皆様にはまだまだ窮屈な思いをさせてしまうと思います。その中で皆さまに喜んでもらえる様、計画等頑張っていきたいと思います。(池本)

将来の夢

(むさしの青年寮 入口 太佑)

皆さんは子供の頃どんな夢がありましたか。スポーツ選手、ケーキ屋さん、有名人になりたいとかいろんな夢があったかと思います。

私は一番古い記憶で幼稚園生の時サッカー選手になりたいと思っていた記憶があります。しかし、成長するにつれて現実的に考えるようになり、自分の将来の事を具体的に考えるようになった時、自分の中にあった一番の思いは漠然と”人と関わる仕事”がしたいという思いでした。

学生時代アルバイトで接客業を行った時、楽しいことばかりではなかったですが直ぐに辞めたいという考えにはなりません。その時の経験が今の自分に繋がっているような気がします。

私には障害を持って生まれてきた妹がおり、障害を持った方々と過ごす機会が非常に多かったと今思い返しています。

子供の頃は、母と一緒に行動することが多かったのも、家族としてたくさんの人と関わっている母の姿が非常に印象に残っています。

当時は全然将来のことは考えてはいなかったですが、小学生、中学生、高校生と成長していき将来自分が社会人となり働く事を考えた時、子供の頃の経験、両親の姿を見ていたので人と関わる仕事がしたいという思いが現実味を帯びていき、むさしの郷で働きたいという選択肢に至ったのだと思います。

働いている中で利用者さんと過ごしている日々はかけがえのない毎日になっていると過去の自分に言えそうです。



第3回ハロウィンイベント in 青年寮

コロナ禍で外出行事を行うことが難しい中、利用者の皆さんが楽しめるイベントとして始めたハロウィンも今年で3回目になりました。

利用者の方もどのようなイベントなのか昨年のことを覚えてくれている方も多く、イベントの前から「今年はこんな衣装が着たい」、「ゲームはなにをするんですか」などの要望や質問を頂くこともあり開催する側としてとても励みになりました。

午前中のゲームでは、的当て、輪投げ、ボーリングを行いました。

今年のテーマ「ポケットモンスター」に合わせて装飾を施したことで「知ってる!」「かわいい!」などと装飾を楽しまれる方、ゲームを真剣に行う方と楽しみ方は人それぞれ。

利用者さん一人一人が、自分の楽しみ方を見つけて参加する姿を見ることができたことは大きな成果だと思いました。

午後は毎年恒例になっている仮装をしておのダンスイベント。利用者の方は、職員の動きを真似して踊る、音楽に合わせてリズムをとる、椅子に座って手拍子をとるなど、一人一人違った楽しみ方をしていました。

このイベントを通してとても印象に残った「一人一人違った楽しみ方」を今後のイベント企画に活かしていきたいと思います。

コロナウイルスの蔓延防止で、外出やイベントの制限はいつまで続くのか見通しが立ちませんが、今後も利用者の皆様が楽しみでワクワクする様なイベントの立案を行っていききたいと思います。(出口)

